

自治会長 回答

小中学校の再編整備

問2. 市内の小中学校について今後どのようにするべきか

1 学校再編整備を進めたほうが良い

件数 101件 (122件中) 83%

2 再編整備は必要ない(現状のままで良い)

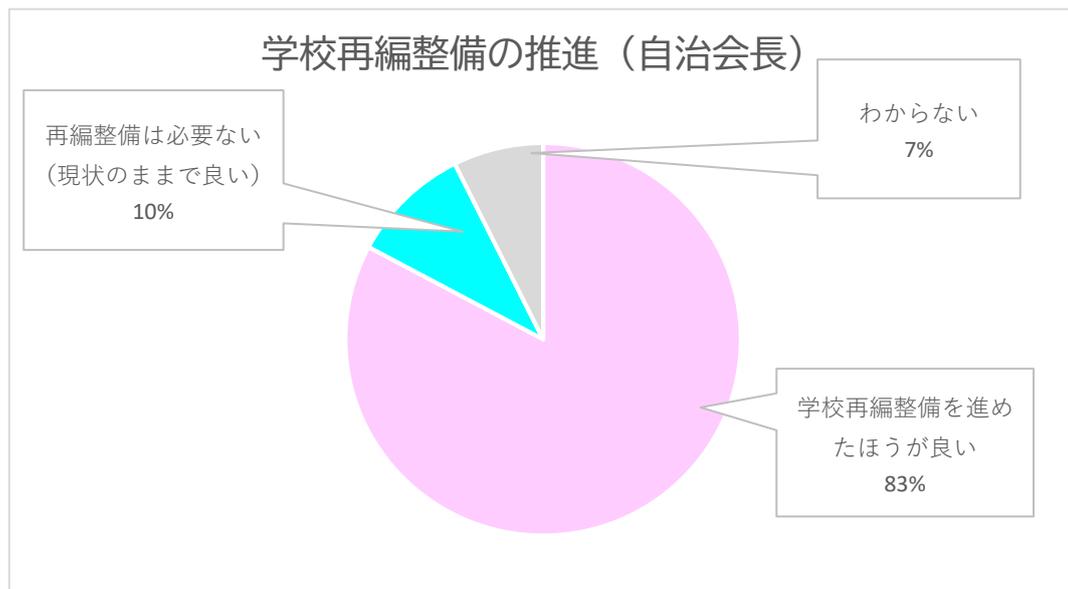
件数 12件 (122件中) 10%

3 わからない

件数 9件 (122件中) 7%

自治会長の回答

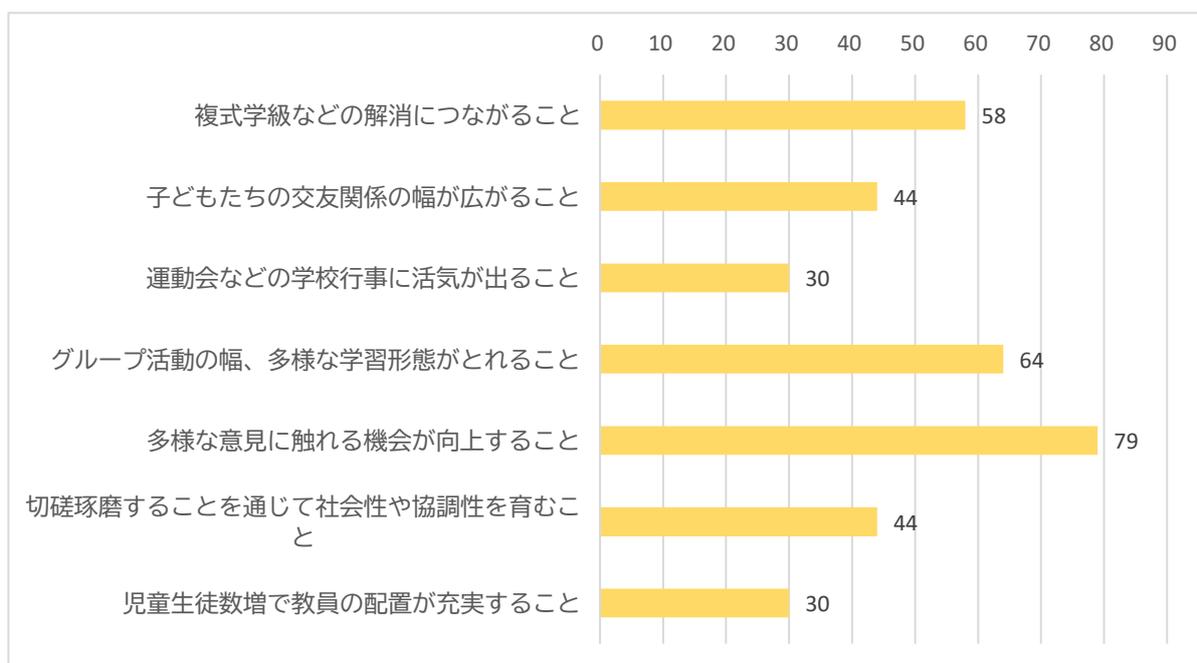
		回答数	割合
1	学校再編整備を進めたほうが良い	101	82.8%
2	再編整備は必要ない(現状のままで良い)	12	9.8%
3	わからない	9	7.4%
合計		122	100%



学校統合で期待できること

問2-1. 今後、進めることで期待できることを教えてください。

		回答数	割合
1	複式学級などの解消につながる事	58	16.6%
2	子どもたちの交友関係の幅が広がる事	44	12.6%
3	運動会などの学校行事に活気が出る事	30	8.6%
4	グループ活動の幅、多様な学習形態がとれる事	64	18.3%
5	多様な意見に触れる機会が向上すること	79	22.6%
6	切磋琢磨することを通じて社会性や協調性を育むこと	44	12.6%
7	児童生徒数増で教員の配置が充実すること	30	8.6%
	合計	349	100%



その他意見

※ 最後の自由記載欄にまとめて記載しています。

※小中学校の再編整備は必要ない（現状のどおり希望）を回答した方の「回答内容」

問1. 回答者の地区について

大	75	大田原	29名	親園	8名	金田	19名
湯	8	佐久山	10名	野崎	9名	湯津上	8名
黒	39	川西	12名	黒羽	13名	両郷	8名
		須賀川	6名			合計	122名

再編整備を望まない回答した方の地区について

大	7	大田原	2名	親園	1名	金田	1名
湯	1	佐久山	3名	野崎	0名	湯津上	1名
黒	4	川西	1名	黒羽	3名	両郷	0名
		須賀川	0名			合計	12名

必要と感じない 回答割合

大田原	6.9%	親園	13%	金田	5.3%
佐久山	30%	野崎	0%	湯津上	13%
川西	8.3%	黒羽	23%	両郷	0%
須賀川	0%			合計	9.8%

必要としないと感じる理由

- (特に問題を感じていない 2件)
- (学校がなくなることが寂しい 6件)
- (メリットが感じられない 2件)

その他

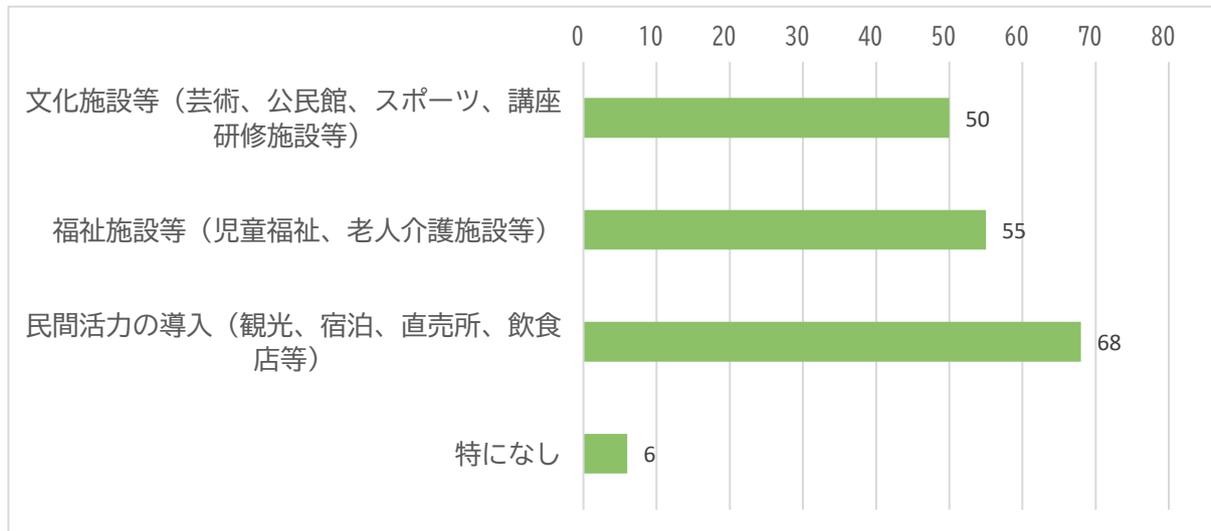
学校再編整備を必要としない理由について

- ・学校が無くなると、地区の衰退がますます進んでしまう。
- ・児童の地域内の関わり方が、保護者以外との関わり方が稀薄になるなど、地域性が失われいくことは、子供たちの人間性の育成或いは個性の形成上何らかな影響はあると考えられることから、児童数が少なくなってくるからと言って、再編ありきはいかななものかと思えます。
- ・地域の文化や歴史を学び、地域に住む誇りを体感することが児童教育には不可欠であると思うため。
- ・地区に学校がなくなれば子どもと学校に対して無関心となる。また、自治会もまとまりづらくなる（若者と接する機会を失う）

跡地の利活用について

問3. 再編整備後の学校跡地について、利活用の希望があれば教えてください。

		回答数	割合
1	文化施設等（芸術、公民館、スポーツ、講座研修施設等）	50	27.9%
2	福祉施設等（児童福祉、老人介護施設等）	55	30.7%
3	民間活力の導入（観光、宿泊、直売所、飲食店等）	68	38.0%
4	特になし	6	3.4%
合計		179	100%



その他意見

- ・ ※ 最後の自由記載欄にまとめて記載しています。

問4. その他、学校再編整備についてご意見ご要望を自由に入力してください。

・学区と行政区域が統一されることを期待したい。例えば、大田原小学校区、西原小、奥沢小学区と大田原東行政区が同じ区域になるなど。

また、小規模校独自の教育活動、教育課程を組み、独自性を持った学校が選択できる環境も必要になると思われる。

・スクールバスの拡充、地域交流の拡充、通学路安全対策の強化、担任の負担軽減、学級経営の充実、学習環境の充実

・1 地域との連携の学校教育(公開講座)。2 地域との連携の部活動。3 地域との連携のイベント(地域と保護者と子供達)

1. 現在より大きな生徒数で集団生活・集団活動をすることで、多くの他の意見を尊重する事、互いに協力する事が出来るので、次のステップに行く協調性ができると思います。

2. 部活動の選択肢が増えることで、得意分野の成長が期待でき、自己の自信向上や何かを続ける忍耐力の向上が期待できると思います。

3. 多くの人間性に触れることで、強さ、優しさ、我慢強さ等の人格形成の基本が自然に身につく期待があると思います。

・学校行事が増える事で 児童同士の協力関係繋がりが出来るのではないかと。

・教員の拡充に繋がるのではないかと。ただ児童が多くなる事になると 見えない所でのいじめについては心配があります。

・小人数の時は 子供同士がよく分かり、教員も 一人一人の性格等把握しやすい所もあると思えるので統合も仕方ない事と思いつつ、不安も有ります。

・学童保育の適正な運営の為に統合は必要と考えています。

・規模が程々になれば学校給食やカフェテリア方式の導入等の食の充実が期待できる。また、教員数を多くする事により勉学の質の向上が期待できる。また、掃除指導や給食配膳等、教育に直接関係ない業務を外部委託して教員の無駄な業務を省く事により、教育指導の質向上や教員の質向上が期待できるし、現状業務の改善を進めるべきと大いに期待します。

・児童生徒のためにも小学校と中学校との統合をするような事態を招かないようお願いします。

・職員の人件費の削減や、学校の建物等維持管理費用の削減により、スクールバスなどの増便を考えても、費用面でメリットがあると考えます。

・人口減の中、再編は必然です。ただ、大田原市でこれまでに出了れた再編案は明るい将来が見通せません。安易に少人数校を合わせるなど議論レベルの低さに愕然とします。10年、20年先を見通せる情報を基に議論して欲しいと考えます。再編は直ぐにでも進めていただきたいですが、今までのような昭和的判断はやめていただきたいです。

・他校から生徒、児童が入り増える事によりイジメ問題など、解消される可能性が多少なりとも望める思う。

・気の合う仲間が増え、選択肢も広がる可能性がある。

・各部活動が活発になる事に期待したい。仲間作りにも繋がると思う。多くの人と触れ合うことにより人間性の向上や多様性など習得できるのでは？

・地域の拠り所になる活用が自由にできる柔軟な運営を地域で話し合いながら進めていくことが必要ではないかと思ひます。人件費、施設管理費削減のみの観点からでなく、地域活性化につながる話し合いも必要だと思ひます。

・跡地利活用は、小さく施設(ほほえみセンター)等の集約をすることで、建物・グラウンドの有効活用ができ、住宅地内にある土地は分譲や公共広場の整備をすることで、小地域の活性化にも繋がるのかと思ひます。グラウンドは、グラウンドゴルフや地域の人たちが使える運動場がいいとおもひます。また、施設は老人介護や、移動ショップなどで利用が可能ならありがたい。これからは、地域の活性化等を理由とする新たに公共施設等の建設は反対です。既存の建物に問題が無ければ民間活力の導入など、リノベーション程度での利活用を図っていくべきと思ひます。

・やる気をもった若い人(経営者)が入って跡地利活用できるように応援したい。

・跡地には医療介護の充実した高齢者施設を希望。一般的に特に外周部の学校は使い道が乏しい。卒業生や地域の方々の思ひは理解できるが、その後の維持管理を考慮すると建物は解体し、土地は可能なら売却が一番と思ひます。

・跡地利活用が見通せない場合は早めに解体を進める。建物を壊し、更地にして土地の賃貸をする。例として定期借地権での分譲をする。

・跡地は、元々地域に必要な場所なので、共働きの親を考慮して学童に充てるのが最優先と考えます。

・今後の維持管理費がかからないような、更地にして地域のグラウンドゴルフ場や災害時の避難所等の利用も選択肢にしても良いのでは無いでしょうか。

・再編による廃校は簡単であるが、後利用まできちんと考えたうえで結論を出すことが必要。公費で造った校舎であり、建物として瑕疵はないことは認識する必要がある。

・災害時の避難所として活用出来るような施設としての設備の充実や、備品等の備蓄を計画して欲しい。

・市の財政が厳しくなってからでは、校舎の解体費用が賄えなくなる。道路の補修も予算が限られ要望を出しても実行されない状況では学校の解体費用など捻出できないのではないかと。

・スタートアップ企業などに教室を貸し出しているところもあるようだが、割と失敗しているケースを見るので早々に解体しグラウンドや公民館用地などにしたほうが良いと思う。

・他地区と同じような安易な使い方で、同じように廃れていくのなら、使わない方がマシだと考えます

・地域活動拠点に、地域の方が自由に入出入り出来る。一企業だけに偏らない方が良いと思います、管理は地元の住民に任せて出来るだけ市の負担がかからないようにしたら良いと思います。

・地域性によっては、施設利活用には限界があると考えられる。必ずしも何とかしてなければと言う発想は捨て去って、時間との経過と再考の時間的静観で良いかなと思います。

・特に老人介護施設が不足している

・所在自治会等の意見を尊重して進める。

・複合施設的な幅広い希望に対応出来る建物として、活用出来れば理想的だと思います
民間と協力し設営する。

民間企業に委託する。校舎は宿泊施設、校庭はキャンプ場、体育館等は体験施設にリニューアルして全国にPRする。

問3は、二つまで回答とありますが、一つしか入力できません。”●生徒数の減少に伴い再編することは、止むを得ないと思います。そうすることによって、たくさんの仲間ができるとともに、いろいろな人たちと触れ合うことによって、より大きく、人を想いやる心が育むと思います。

”

・問2で「学校再編整備を進めた方が良い」と回答しましたが、「再編しないわけにはいかないだろう」と考えるからで、選択肢の中では「進めた方が良い」が最も近いかと考え、選択しました。「進めた方が良い」と思っているわけではありません。

・特に小学校については地元との結びつきが深く、何世代にもわたって同じ学校に通っている場合も多く、「自分たちの学校」「地元の学校」という意識が強いと考えます。そのため学校支援にも積極的に参加してくれる地元民も多くなっています。仮に進学や就職等で地元から離れるにしても、子どもたちに「地元の人たちから愛されていた」という意識を持ってもらうことは成長していく上で良い効果をもたらすと考えます。再編はいたしかたないこととは思いますが、そうした点も考慮していただきたいと考えます。

・効率や経済面を考えれば再編整備した方が良いのは理解できますが、人数が少ないゆえのメリットというものはないのでしょうか？

・学年や部活動で下校時間が違うので通学時の安心・安全の為、通学バス・デマンド交通の充実も同時に進めて欲しい。

・スクールバスの通学経路やバスを降車してからの児童の安全はどうするのか。

・羽田小と市野沢小のボランティアで家庭科の授業にはいり、ミシン・アイロンの指導をしているが、羽田小は私と先生 1 人で充分だが、市野沢小では私と先生 4 人で指導していても大変である。

・可能であれば当事者である子どもや親が大規模校と小規模校のどちらに行くか選択できるのが良いと考える。

・子どもたちにも向き不向きがあり親の教育方針もあるので選ぶチャンスは平等であるべきではないか。一律に「再編して大規模校」にする、というのは教育の平等とは程遠い気がしてしまう。田舎に大規模校があっても良いわけだし市街地に小規模校があっても良い。

・通学が問題でバス通の台数が確保できるのか？

・現在、不登校と言われる、あるいはその傾向にある児童・生徒はどここの学校にも存在していると考え。学校再編で閉校になった学校を、フリースクールのような機能をもつ施設として活用していただけないだろうか。また、再編が進めば、教員等の人件費等に余裕も出てくると思われる。専門的なノウハウを身につけた先生による指導の充実を図っていただきたい。

・1、教員の教育に直接かわらない業務、掃除指導：昭和初期の考えは捨ててください。市役所も県庁も職員はしていません。各種集金や個別訪問等、教員や親に負担がかかることは見直すべきと強く考えます。

・那須塩原市の様に移住促進などの人口増加促進の方策が少ないように思います。

- ・合併に伴い、老朽化も考え別場所に新たに建て替えて小中一貫校としても良いのではないか。
- ・現在の親園中学校への道路が狭くて利便性が悪い為、検討して頂きたい。
- ・今の子どもたちは、保育園、小学校でさえ地元建物がなく、中学校までなくなったら、バス通学で9年間過ごすことになるので、郷土愛、学校愛が希薄になる可能性を感じる。
- ・再編前に部活動等の継続のため、事前に合同活動、練習をしておいたほうが、児童や父兄の不安感が、和らぐとかがえます。
- ・子供達の良い方向で 子供達の意見も聞いて欲しいかと思えます
- ・児童の情操教育から地育性を配慮した展開が必須と考えます。経済的な事情が優ると真の教育から欠けはなれるものと危惧しています。
- ・児童生徒数の推計からは周辺地域の減少が目を引く。インフラや用地はあるので、利活用したい経営者の発掘とそれへの支援で活気のある大田原市を目指してほしい。
- ・時代の推移もあり再編はやむを得ないと思えます。
- ・若い子育て世代の意見を十分に聴取し、実施に当たりそれらを参考にさせていただきたい。
- ・小規模学校を統合するのは仕方がないことだと思う。しかし、統合した後、特に小学生が、低学年が朝早くからスクールバスに1時間以上も乗って通学するようでは、やはり問題があると言える。また、地域の文化施設としての学校が無くなることや子どもたちが学校に通う姿が地域から消えてしまうことは、地域の衰退につながる。
- ・統合することはやむを得ないことは分かっているが、多くの問題もあるので、よくよく検討されたい。小さな学校でも残すという選択肢は無いものだろうか。
- ・小規模校ならではのメリットは少なからずあるものの、本来のあるべき教育とはかけ離れたもののように感じる。教室の壁を隔てて、同級生が切磋琢磨して学ぶ様子が覗えることが望ましい姿であるものと考えます。
- ・生徒達の意見も聞いて頂き、保護者や子供達が納得するような方向性で話しを進めていただく様お願いいたします。
- ・跡地利用に関しては、広くアンケートを実施した方が良いと思えます。
- ・跡地利用のために多大な費用はかけるべきではないのでしょうか。

・早期に実施しなくてはならない地域もあると思うので、検討事項であると思います。これから、まだまだ人口減少社会に向かっていく時代になって行きそうなので。地域の対して丁寧な対応(説明)と、再編の必要性の醸成を期待します。地域性を大切に学校再編成を行って頂ければと思います。子供は地域の宝です。是非、地域で応援できる体制でスタートを切って頂ければと思います。

・地区公民館との共同活動、ふれあいまつりなどへの参加に期待する

・特色ある授業を設け、市街地からの転入者を受け入れる。

・複式学級を無くし、同一学年で授業できるような再編整備が望ましいと思います。

・編成による通学距離が長くなる事で、児童や親御さんに負担にならない様に配慮をお願いします。例えばスクールバスの活用時は、終了後の児童クラブの送迎や放課後の部活活動の制限等もありますので、負担増を少なくして下さい。

・令和12年までの児童、生徒の見通しをみると複式の学校が多く見受けられますが小学校は地域の拠点であり財産であると思いますので残していただきたいと要望します。小規模の悪影響は理解できますが、全国の中には小規模でも充実した学校があると思いますので検討する余地があると思います。

問2. 市内の小中学校について今後どのようにするべきか

1 学校再編整備を進めたほうが良い

件数 298 件 (634 件中) 47%

2 再編整備は必要ない (現状のままで良い)

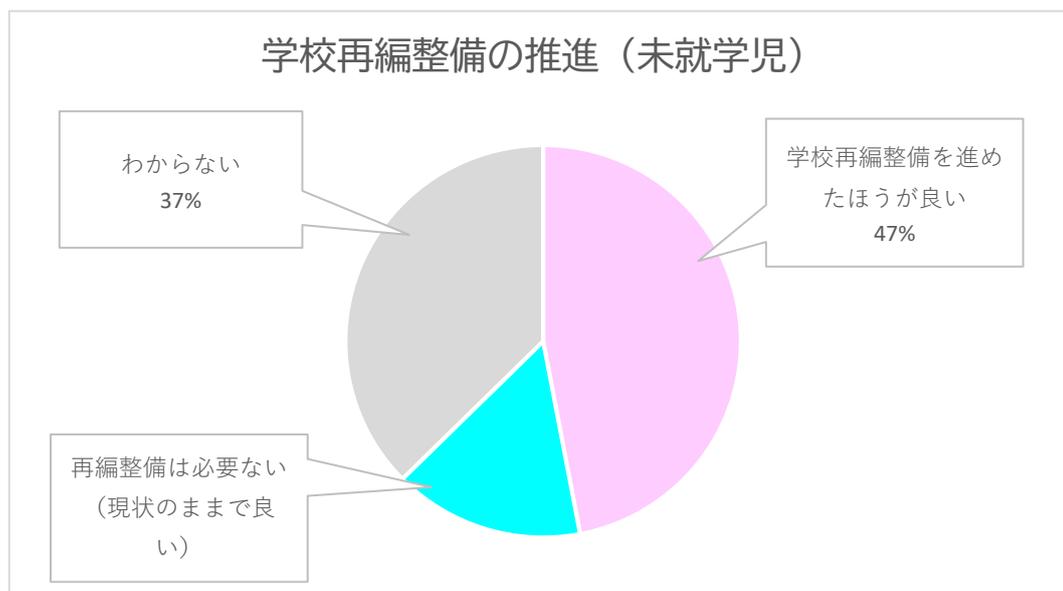
件数 99 件 (634 件中) 16%

3 わからない

件数 237 件 (634 件中) 37%

未就学児童保護者の回答

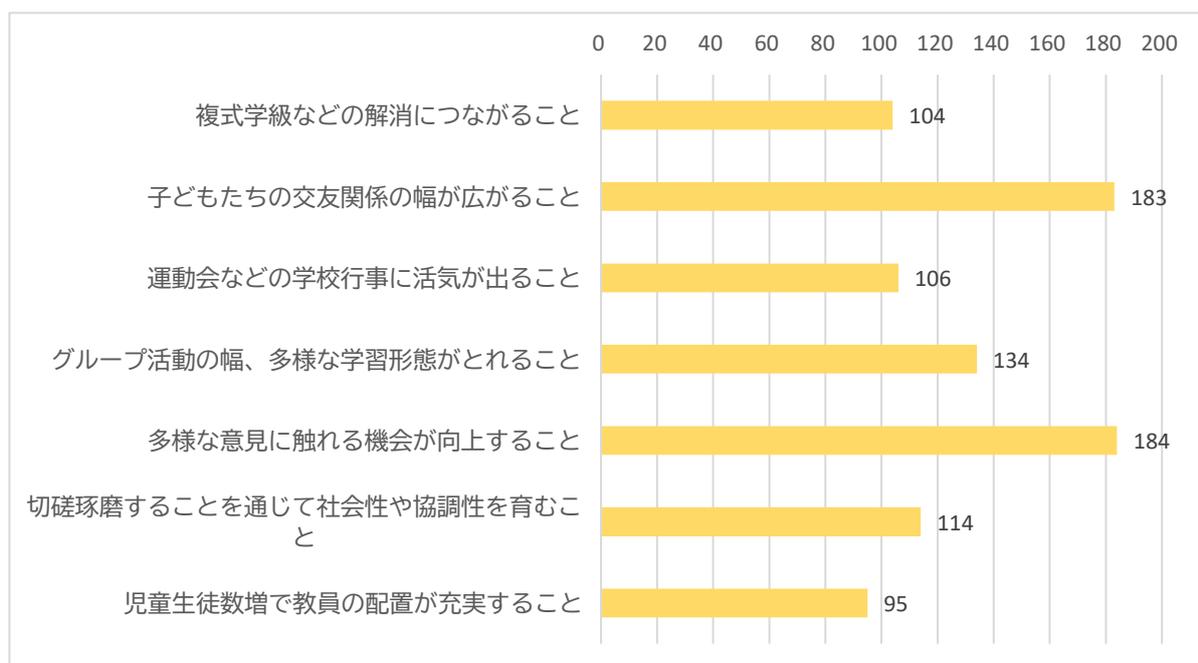
		回答数	割合
1	学校再編整備を進めたほうが良い	298	47.0%
2	再編整備は必要ない (現状のままで良い)	99	15.6%
3	わからない	237	37.4%
合 計		634	100%



学校統合で期待できること

問2-1. 今後、進めることで期待できることを教えてください。

		回答数	割合
1	複式学級などの解消につながる事	104	11.3%
2	子どもたちの交友関係の幅が広がる事	183	19.9%
3	運動会などの学校行事に活気が出る事	106	11.5%
4	グループ活動の幅、多様な学習形態がとれる事	134	14.6%
5	多様な意見に触れる機会が向上する事	184	20.0%
6	切磋琢磨することを通じて社会性や協調性を育むこと	114	12.4%
7	児童生徒数増で教員の配置が充実すること	95	10.3%
	合計	920	100%



その他意見

※ 最後の自由記載欄にまとめて記載しています。

※小中学校の再編整備は必要ない（現状のどおり希望）を回答した方の「回答内容」

問1. 回答者の就学予定小学校について

大田原小	200名	西原小	97名	紫塚小	80名
親園小	28名	宇田川小	8名	佐久山小	7名
市野沢小	24名	羽田小	7名	奥沢小	8名
金丸小	13名	薄葉小	40名	石上小	17名
湯津上小	32名	川西小	18名	黒羽小	30名
須賀川小	12名	両郷中央小	13名	合計	634名

再編整備を望まないと回答した方の地区について

大田原小	23名	西原小	16名	紫塚小	12名
親園小	6名	宇田川小	2名	佐久山小	2名
市野沢小	5名	羽田小	2名	奥沢小	2名
金丸小	5名	薄葉小	5名	石上小	3名
湯津上小	8名	川西小	3名	黒羽小	5名
須賀川小	0名	両郷中央小	0名	合計	99名

必要と感じない 回答割合

大田原小	12%	西原小	16%	紫塚小	15%
親園小	21%	宇田川小	25%	佐久山小	29%
市野沢小	21%	羽田小	29%	奥沢小	25%
金丸小	38%	薄葉小	13%	石上小	18%
湯津上小	25%	川西小	17%	黒羽小	17%
須賀川小	0%	両郷中央小	0%	合計	16%

必要としないと感じる理由

- (特に問題を感じていない 56件)
- (学校がなくなることが寂しい 35件)
- (メリットが感じられない 45件)

その他

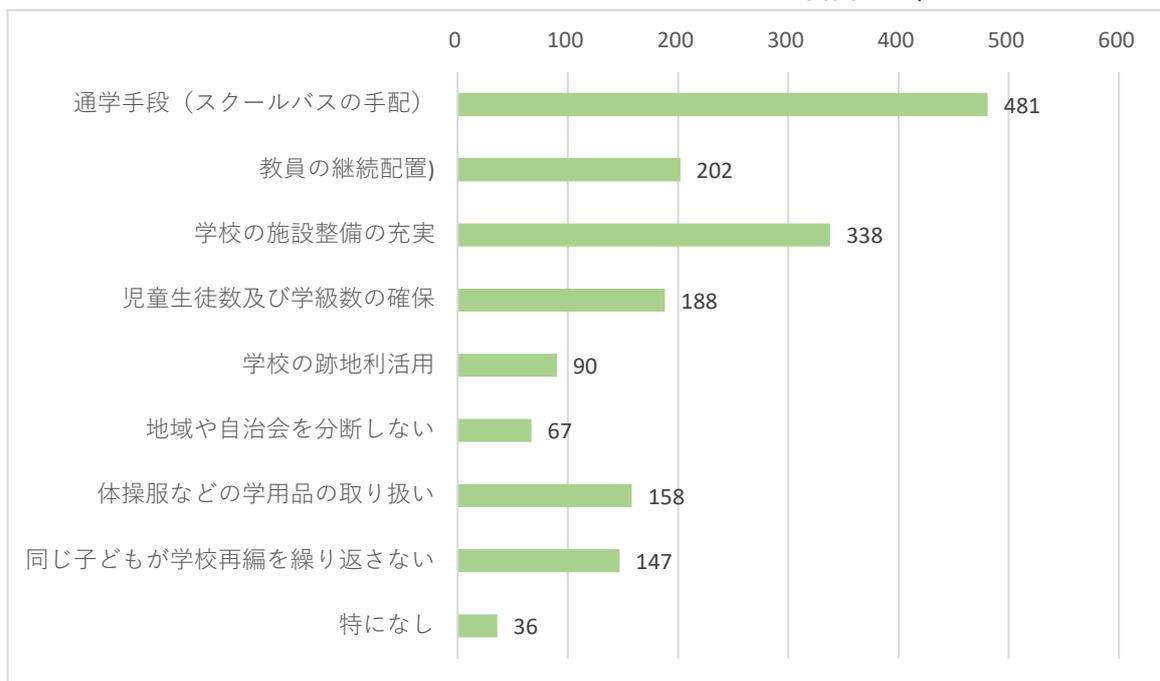
学校再編整備を必要としない理由について

- ・ ※ 最後の自由記載欄にまとめて記載しています。

配慮してほしい点について

問3. 学校の再編整備について特に配慮してほしい点を教えてください。

		回答数	割合
1	通学手段（スクールバスの手配）	481	28.2%
2	教員の配置（統合前の教員の継続配置）	202	11.8%
3	学校の施設整備（教育環境の充実）	338	19.8%
4	一定の規模（児童生徒数及び学級数）の確保	188	11.0%
5	学校の跡地利活用	90	5.3%
6	地域や自治会を分断しない	67	3.9%
7	体操服などの統一学用品の取り扱い	158	9.3%
8	同じ児童生徒が学校再編整備を繰り返さない	147	8.6%
9	特になし	36	2.1%
合計		1,707	100%



その他意見

※ 最後の自由記載欄にまとめて記載しています。

問4. その他、学校再編整備についてご意見ご要望を自由に入力してください。

- ・人数が少なくて小学校が合併になった場合、入学後にまた環境が変わることに不安があるため。
- ・あまり大きい学校になりすぎると、子供たち全員に教員の目が届かないのではないかと。30人40人のクラスになると、子供たちの個性を担任が把握出来ないのではないかと。という懸念がある。
- ・その地域に根付いた学校ごとの良さがあり地域住民との関わりがそれぞれあると思う。更に過疎化が進んでしまうのではないかと。
- ・そもそも再編整備のメリットがわかりづらい。そして何よりも子供の教育をお願いする先生方にストレスのない環境をお願いしたい。職場環境が良ければ心に余裕が生まれ子供達のことをよくみてもらえるとおもう。職場環境が良ければ先生方の人間関係も保護者との関係もよくなるとおもう。まだ未就学のため現状を知らないのではなんともいえないところもある。子供にとって環境やお友達が変わるのは本当に大変なこと。
- ・再編整備について学校までの距離等を考えると親の負担が増えると思うため
- ・自宅から距離がある場合、バスや各自送迎となると運動する機会が減ってしまうため。また、子ども自身の自力通学ができないのは不便であると考えため。
- ・小さい学校には小さい学校の良さがあると思います。少人数による教育は教育的効果が薄いのでしょうか？
- ・子ども本人が統合に否定的(環境が急に変わる事への不安)。
- ・ある程度の人数がいてクラス替えができることがよいとは思わない。
- ・地区に学校がなくなってスクールバスになった場合、学校に迎え行かないといけないときに遠くなる。友人宅のエリアが広がるので自転車などで遊びに行く範囲が広がり怖い。
- ・当方はクラス数のある学校となるため困っておらず、再編整備の対象でもないのが該当となる方の意見を聞くのが良いと思う。少ないところの方の気持ちがわからないため。
- ・歩いて通学環境の変化が大きすぎる気がするため
- ・再編した場合、学童保育の受け入れ人数が変わらないと狭き門になってしまう。入れた

としても兄弟児が別の学童になる等したら、働く時間にも影響してしまうので、学童保育への対処も考えてほしい。

・①遠距離通学のスクールバス手配、②教室、体育館へのクーラー設置、③夏期間のみ校庭へのオーニング設置

・スクールバスはありがたいですが、乗車時間が長いように思います。私自身もスクールバスで通いましたが長く乗車する子どもでも20分程度になると良いと思います。スクールバスや児童館。共働きが増えているため、統合して距離が遠くなるのは目に見えているので、早めに預かってもらえる、遅くまで預かってもらえる場所の確保をしてほしいです。

・遠距離になる場合は必ずスクールバスを手配して欲しい。学校が遠くなる事で夜道を子ども1人で帰らせる事に対し不安が強いので、統合などで中学校が遠くなる場合には中学校の部活動は任意参加にして欲しい。

・学区外の行き来を柔軟に希望等確認して欲しい。

・バス登校で生活活動の低下が進んでいると感じるため、配慮した朝の活動など、カリキュラムを組んで欲しい。学校が遠くなることで、お迎えに行きづらくなる家庭もあると思う。周辺の学童を増やす必要もあるのかと思う。

・学童使用の倍率が上がらないように、学童の整備もお願いします

・給食が少な過ぎて心配です。育ち盛りなので、配慮をお願いします。

・建物の老朽化を徐々に改善して頂きたいです。

・西原小学校編成後、小学校までのスクールバスが出ていると聞きました。ただこのスクールバスもいつまで続くのかは未定との事でしたので、小学校までの距離がある場合には、子供の安全のため、親の送迎の負担軽減のためにもスクールバスは継続して続けて欲しいです。

・現在通っている子どもたちにとってより良い学習環境になるように配慮するのはもちろんのこと、学校の跡地の活用にも力を入れてほしいです。

・再編成で学区が変わった場合転校することになるのか新1年生から再編成後の学校へ通学となるのか不明なので再編成前に入学している場合、再編成後転校となる児童に対して、現在の学校への通学を継続できるよう柔軟な対応をお願いします。転校で交友関係が

変わることは子供にとって大きな負担だと思います。

・再編整備にあたり、学校の歴史や伝統、建築物とその周辺の価値を考慮し、残すべきものは残してほしい。

・子供の気持ち。学校に通うのは子供達。大人が良かれと思うことと子供の気持ちと一緒になければならぬと思う。

・支援学級においても、同学年のクラスの人数が少なくなりすぎないように調整していただきたいです。

・近隣市町でも再編が行われているが、できれば地元の重鎮と呼ばれる方たちを入れないで議論して欲しい。(残せとしか言わないので…)

・体育館の老朽化も心配です。

・登校班について、自治会の育成会が休会しているところもあり、通学路の見直しも含めて、登下校について考える必要があるかと思っています。

・統合によって1クラスの人数が増えるのであれば、教員の配置を考えるのが望ましい。今は多様性の時代で色々な特性を持った子どもがいるため、人数が増えたことによって目を向けられない子どもが出てくるのは避けた方が良い。ひとりひとりに目を配る機会が減ることは避けてほしい。

・同じ児童生徒が学校再編整備を繰り返さない方が環境的にも良いと思う。

・発達障害がある子がいるので、加配をつけていただくなどの配慮をお願いしたいです。

・部活動が少ないのを解消してほしい

・生徒が0にならない限り学校を存続させてほしい。子供は地域の活力です。

・アンケート資料を拝見し、クラス替えができない学校や複式学級がある学校が思ったより多くあることに驚きました。学校再編整備は必要だと考えますが、子どもにとって環境が変わることは世界が変わるくらい大きなことだと思います。

当事者である子どもたちとの意見交換の場などがあればいいのではと思いました。

また、学校再編整備によって先生方の配置も変わっていくことと思います。先生の目が生徒一人一人に行き届く環境になることを願っています。

・クラス替えができない、複式学級が存在する学校は、早急に再編成を検討してほしい。地

域住民の希望も大切だとは思いますが、弊害を被るこれからの子供たちのことを一番に考えてほしい。

・大田原小と若草中に関しては、生徒変わらずの持ち上がりになるので、交友関係など変化が少なく、良い刺激や緊張感にかけると思います。小学校でつまづき、中学校からリスタートしづらい環境だと思います。

・育成会に入らなければ登校班にも入れないというのが気になりました。

・一番大事なのは子どもにとっての学びや安全、居心地の良さだと思います。

・子どもにとっての利益がきちんと確保されていれば、統合のメリットを感じられる。

・一部が廃校になることになると地域や OB からの反対もあるのかとは思いますが、通学する子どもたちの教育環境を第一に進めていただきたいと思います。

・羽田小学校と須賀川小学校は、こんなにも少数児童なのに、なぜ統合しないのか疑問しかない。早めの統合を望む。

・体操着など学校指定のものを何個も買うことになるのかなりの出費であるので配慮が必要と思う。遠距離になればなるほど、学校より家庭の負担の方が大きくなるので、そこは配慮して考えてほしい。

・過疎地域に学校があることで、地域が活性化されるわけではありません。実家に戻りたいけれど、小さな学校に通わなければいけないと考えると、実家に戻るのを躊躇する方も多いと思います。どこに住んでいても多様な学習を受けられ、様々な人との関わりを持つことで、子どもたちの未来の選択肢を広げてあげることが大切だと思います。政治に流されず、今の子育て世代の声に耳を傾けて政策を行っていただけることを願っております。

・学校、教育機関の再整備で現状の課題を解決していくことはいい。しかしながら、人口流出や移住の促進など働き世代の人口を維持、増加させていく取組みを是非ともお願いしたい。企業の誘致や近隣市町村との協力などで更なる県北地域の活性化に期待する。鉄道(都心へのアクセス)、高速道路(関東-東北の両方へのアクセス)など交通でも魅力があるのだから今以上に地位を向上させることができると思う。

・学校が統合するにあたり、新しい学校に移動する場合は学年の途中での移動はやめて欲しい。

・学校が廃墟になるのはとてもさびしいし、もったいないので地域の社会資源として企業や地域住民などと協力して活用してほしい。整備にかんしては行政で責任をもってほしい。

・学校再編について、現状においては無理に進める必要は無いと思います。きめ細かい教員による指導やより深い人間関係の醸成など、小規模校にもそれなりのメリットが考えられ、大田原市の現状を踏まえれば無理に再編を進めるほどではないかと思います。また再編を進めるとなると該当校同士の教育カリキュラムや諸分掌のすり合わせなど、数年にわたる準備が必要となり、教員の負担は増すばかりです。地域住民や卒業生の心情も絡んでくるものであり、単に教育予算の縮小などを見据えた再編計画の作成には賛同できません。

・未就学児からの意見を尊重して決める風なアンケートではなく、方針が決まっているならば、そのような内容のアンケートにしたほうが良いと思います。

・学童保育の充実を図って欲しい。

・教職員の時間人員等のリソース、また子どもたちの数、自治体の予算がこれから縮小していく中、なるべく早くにコンパクトな学校運営を目指し、効率的に人員配置等を進めていくべき。

・兄弟がいるところや学区の中間に家がある家庭などはどちらの学校に行くかを選べるようにしてもらえると良いと思います。

・現在、学区編成により上の子も達がスクールバスでの通学となっていますが、学校到着時間が登校時間のギリギリとなってしまう、特に下級生は朝の提出物の提出や連絡帳の記載、1時間目が体育や移動教室の場合の準備が大変でした。また、高学年になると朝の学習にも支障が出てくるため、もう少しスクールバスの到着時間を早めてほしい。こちらの希望で学校が遠方になっているわけではないのに、子どもに皺寄せが行くのはおかしいと思う。

・現在、西原小学校よりも大田原小学校に生徒数が集中している事を知りました。そのため、再編整備を早急に進めていただきたいです。中学校入学は、大田原中学校か若草中学校を選べると曖昧な通知があったがエリアの見直しを先にしてほしい。中学校から変更があっても、子供の友人関係や教育環境の変化の戸惑いを心配している。

・現在、複式学級を採用している学校、今後見込まれる学校の統合はやむを得ない。大規模な小中学校以外は教材及び学用品、体操服等の統一は来年度からでも始めた方が良くはないか。

・現状はよくわからないのですが、あまりにも人数が少ない学校があるなら、統合も必要かもしれない。その時も子供の通勤のしやすさと、学び安さを前提に進めて欲しい。

・今回の調査で小中学校の現況などを知ることができ、入学前に知れたことで今後を考えるきっかけとなりそうです。このような機会を与えてくださりありがとうございます。

・体育館などの施設がどこも老朽化がひどいと感じます。近年の猛暑の中、万が一の避難場所として開放していただいても、空調設備がない体育館には避難できません。できれば多目的トイレも作って欲しいです。

・すでに整備済みかもしれないが、全トイレを洋式便所にすることや、体育館や特別教室等の全部の教室にエアコン設置することは必須だと考える。

・最低でも湯津上、黒羽の両地区に小学校と中学校は存続してほしい。

・市内の小中学校に通学した者です。児童生徒数が減少しているのだろうとは思っていましたが、予想以上の深刻な状況を知り、再編整備はやむを得ないものと分かりました。当事者や関係者には大変なことと思いますが、自分にできることがあれば協力していきたいと思いました。

・紫塚小学校は今の規模や環境で、目が行き届いていつつ集団生活も学べ、子供にとってはちょうど良い状況と感じています。少子化で昔のように大規模でというような状況でもないので、適切な規模については時代に合わせて考えていただくとよいかと思います。自分がその地域の立場ではないため、どう答えていいかわからない。人数の少ない小学校の当事者やそこで過ごしてみてどうだったかなど、子どもや保護者に聞いてみてほしい（すでに実施済みでしたらすみません）。

・実際に通学する子ども達の気持ち（〇〇学校へお友達と行きたい、たくさんお友達がいる学校がいい等）や、その家族の気持ち（出来るだけ複式学級のない学校へ行かせたい、入学してから卒業まで且つ兄妹がみんな同じ学校に通学出来て統合の心配がない学校がいい等）に寄り添って学校選びをさせて欲しい。その前提として、まずは再編整備が必要な学校においては早急に話を進めていただき、将来的に子ども達がより良い環境下で教育を受けられるように配慮してもらえたらありがたい。

・小学校の統合もあるかもしれないが、義務教育学校(塩原)のように、小中がくつつくのもありかもしれない。

・小規模校であることの良さもあると思うので、小規模特認校や小中一貫校のように、学区にこだわらず保護者や生徒が多様な選択ができるようになれば良いのではないかと思う。

小規模校を統合する再編整備を進めることも大切かと思いますが、紫塚小学校のように、

生徒数が増え、教室数や教員が不足しているような学校についても対策を講じてほしい。

・新しく校歌や校章を作り替えたり、体操着や制服のデザインを変えたりするのは無駄だと思います。どうしても何かやりたいのであれば、統廃合する前の交流行事にお金をかけたり、回数を増やすなど、子どもたちにとって楽しい経験を共有するのが良いのではないのでしょうか？

・人数が少ない学校も自然が豊かであったり、あたたかみのある教育を受けられるなどのメリットがあると思うので、学区外から行けることをもっと早く知りたかったです。早くしれたら、子供がもっと小さなうちに検討して色々で見学に行けたと思います。

・先生の配置を生徒を十分、しっかりみれる人数の配置でやって欲しい。人数も必要だけど、良くも悪くもそのクラスにあった、人数配置をしてほしい。
統合するのに、先生たちの負担が大きければ、これから実力があって、熱心な先生達が、職を辞めてしまうのではないかと心配です。

・人数の多い学校と少ない学校との行事、部活などの差。経験は子どもたちには同じようにしてほしい。

・数字で見ると合併が必要そうに感じるが、学校が離れると家を早く出ないといけなくなったり、送り迎えの面で家庭の負担が増えることや、今まで通っていた所がなくなることなどで子どもがショックを受けすぎないように整備と理解が必要になると考える。人間味のある整備を求めたい。

・税金を使っている事を忘れないで最大値を取って下さい。

・全体的に建物が古すぎる。教室、トイレ、体育館新しくしてほしい。特にトイレが和式ばかりなのが気になる。大田原中学校の体育館トイレが特にひどすぎる。和式、手洗い水道のサビ、水道水もサビ臭い、未来ある子どもが使う環境ではない。市役所など大人の施設を綺麗にするよりも先にやるべきことがあるのでは？他の自治体は体育館にエアコンが入っていたり電子黒板が導入されていたりと教育にお金がかかっている気がします。統合をして集約される分、施設設備や教育環境の更なる整備を望みます。

大田原市街地の小学校に児童が過度に集中しており、教育環境の偏りが心配です。市内の同級生の約 4 分の 1 が大田原小に通っている現状を見直し、より均等な学校配置を検討してほしいです。

・湯津上小学校・中学校は 9 年間同じメンバーで過ごすため、個人の役割が固定化してしまいそうで心配。小学校はまだしも、中学校は他の学校の子供達と統合しても良いのではと思う。

「未就学児童保護者」

・統合などの可能性が出たタイミングで通知をしてほしい。学校がどういう位置付けなのか生徒、親側がリアルタイムで知れている状況にしてほしい。

統合により児童数の増加から学童の申し込みが漏れる可能性が懸念される。共働きが増えるなか、学童の確保も同時に考えていただきたいと思います。